

# オットーボック装具 付属資料（装着者向け手引書）

## 5065N オモ ニューレクサ プラス

### 自己装着の手順

上肢懸垂用肩関節装具『オモ ニューレクサ プラス』は、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めしますが、十分な装着訓練をすることで、装着者ご自身により着脱ができるような構造となっています。

ご自身で着脱していただくためには、以下の手順に従って訓練し、習熟してください。



#### 注意

- 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。
- ご自身で装着できるようにするには、リハビリテーションの過程において十分な装着訓練を行ってください。
- 本製品の機能が効果的に発揮できるように、肌に直接装着することをお勧めしていますが、汚れや装着感などが気になる場合には、滑止め部分（シリコーン部分）に影響しない袖無しの下着（タンクトップなど）、または半袖や袖の長さ調整ができる衣類の上に装着することをお勧めします。
- シリコーン素材により、皮膚障害などを起こす場合があります。アレルギー体質の方や肌が過敏な状態にある方は、医師または義肢装具士など、担当医療機関にご相談ください。

#### 備考

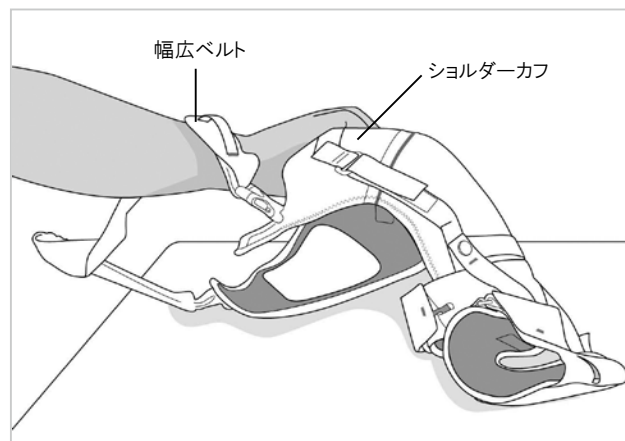
- 1日の装着時間ならびに装着期間は医師の指示に従ってください。
- 毎回使用前に、正しく機能すること、磨耗や破損がないことを確認してください。
- 正しく機能しない場合や、磨耗や破損がある場合には、使用を中止してください。

装着前に取扱手引書①基本篇の【使用上の注意—必ずお読みください—】をよく読んでください。

### 1. 装着手順

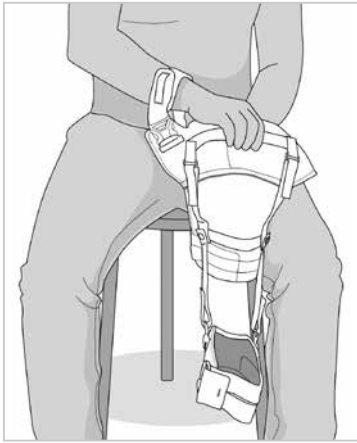
#### 【装着前の設定】

- ショルダーカフ、前腕カフは懸垂ストラップで連結します。
- 腋窩を通す幅広ベルトは緩めに仮留めします。
- ショルダーカフ、前腕カフのシリコーン部の面ファスナーは緩めに留めます。



図①

- ① 仮留めした幅広ベルトのループ内に健側の手えを通し、装具のショルダーカフの端を挿んでください（図①）。

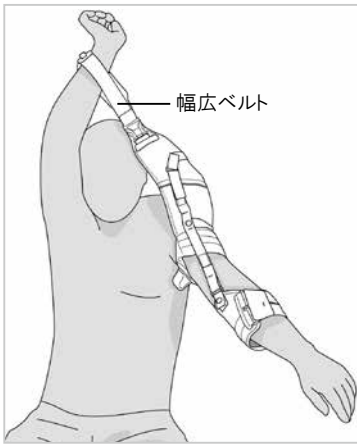


図②-1

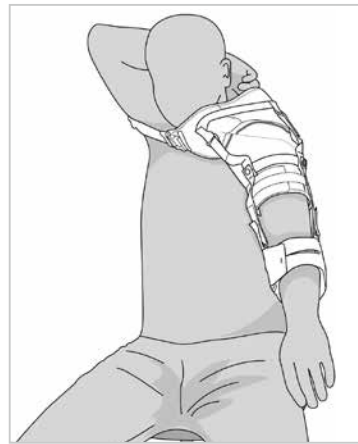


図②-2

- ② 麻痺側の腕を筒状になった装具に通し、肩まで装具を引き上げます（図②-1, ②-2）。

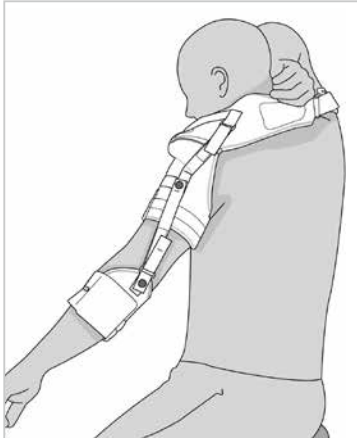


図③-1



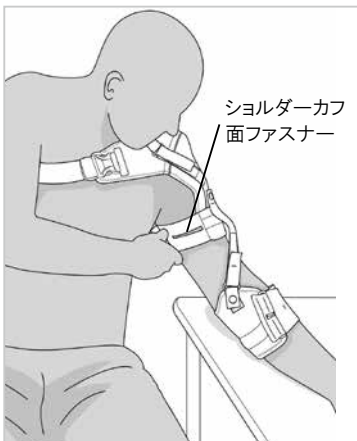
図③-2

- ③ セーターを着る要領で健側の腕を幅広ベルトのループの中に通します（図③-1, ③-2）。



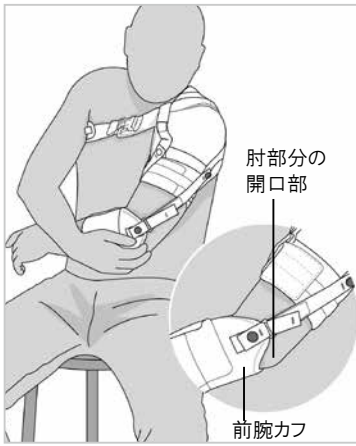
図④

- ④ 幅広ベルトがねじれていないことを確認しながら、腋窩までしっかり通します（図④）。

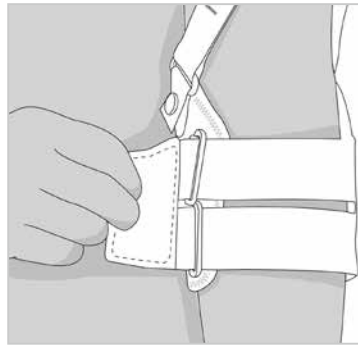


図⑤

- ⑤ ショルダーカフの面ファスナーを閉じます。きつすぎない程度に、しっかりと固定できていることを確認してください（図⑤）。



図⑥-1



図⑥-2

- ⑥ 前腕カフの肘部分の開口部を肘頭に合わせてから、面ファスナーを折り返して閉じます（図⑥-1、⑥-2）。

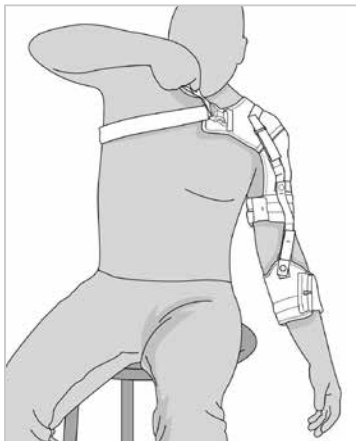


図⑦-1

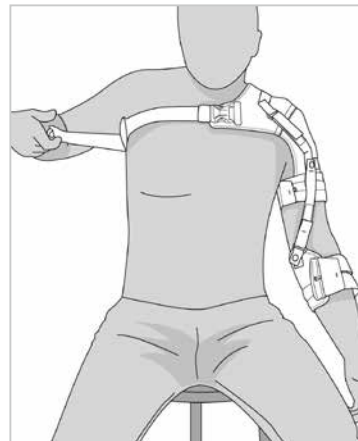


図⑦-2

- ⑦ 前腕カフとショルダーカフを連結している懸垂ストラップの面ファスナーを固定し直します（図⑦-1、⑦-2）。

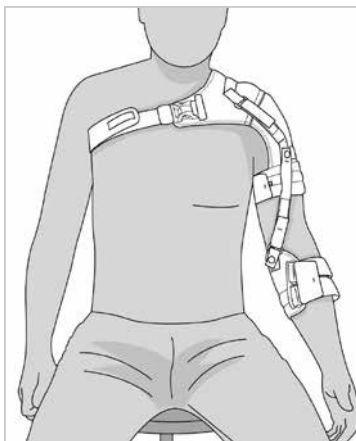


図⑧-1



図⑧-2

- ⑧ 最後に幅広ベルトを締めます。幅広ベルトは義肢装具施設で行った調整に応じて、「後ろから前へ締める調整方法（図⑧-1）、または、「前から後ろへ締める調整方法（図⑧-2）」のいずれかで締めます。

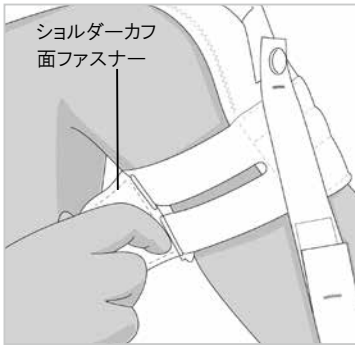


図⑨

- ⑨ リラックスした状態で、装具全体にシワやたるみがないか、全体を強く締めすぎていないか、などに注意し、ポジショニングも含めて正しく調整されていることを確認します（図⑨）。

装着状態が正しくない場合には、再度はじめてから装着操作を行なってください。

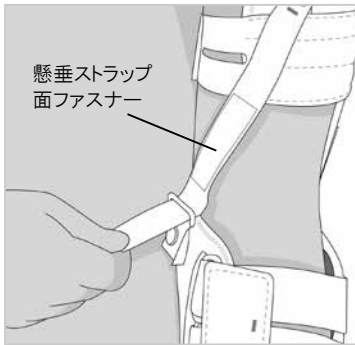
## 2. 脱着手順



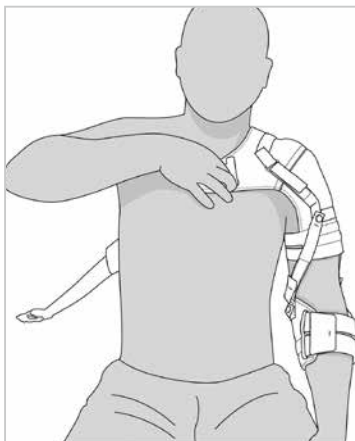
図①-1



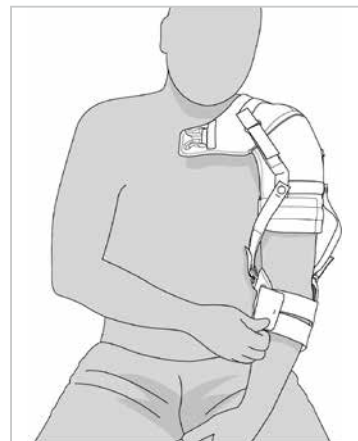
図①-2



図②



図③-1



図③-2

① ショルダーカフ、前腕カフの面ファスナーを完全に開けます（図①-1、①-2）。

② 懸垂ストラップの面ファスナーを開けます（図②）。

③ 幅広ベルトの胸部にあるバックルを開けて装具を外します（図③-1、③-2）。

## 3. お手入れ方法



**注意**

● お手入れをされる場合には、取扱手引書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

- ① 面ファスナーはすべて閉じておいてください。
- ② 中性の洗濯用洗剤を使用し、40℃の温水で手洗いしてください。
- ③ 十分にすすいでください。
- ④ 自然乾燥させます。火や熱に直接さらさないでください（直射日光、ストーブやラジエーターなどの暖房器具など）

お問い合わせ先

### 掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 [www.ottobock.co.jp](http://www.ottobock.co.jp)

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

# オートボックス装具 取扱引書 ①（基本篇）

## 義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取り扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱引書①（基本篇）と取扱引書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。  
また取扱引書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。


### 【はじめにお読みください】

本製品は装具として該当部位の保護や運動の補助などを目的としていますが、使用される方の健康状態や、使用状況によっては、完全に機能を発揮できるものではありません。部位、目的・用途に合わせてご使用ください。  
装具の適応については、必ず医師の診断を受け、指示に従ってください。

### 【使用上の注意 — 必ずお読みください —】

本取扱引書では、安全に関わる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて次のように分類しています。

 **警告** 事故または損傷につながる危険性についての警告

 **注意** 物的破損につながる危険性についての注意

### 【安全に関する注意事項】

 **警告**

- 初めて使用される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとする医療従事者による初期設定と適合調整が必要となります。また、装具装着に関しても、医療従事者の指示に従ってください。
- 身体への異常の発生や症状の悪化を防ぐため、使用前に以下の疾患および症状が見られる場合には使用しないでください。
  - ・ アレルギー体質の方や肌が敏感な状態にある場合
  - ・ 装着部位に湿疹、かぶれなどの各種皮膚疾患、けが、傷、骨折、腫れなどの異常や損傷、または炎症などが見られる場合
  - ・ 装着部位から離れた場所にむくみやリンパ節の異常が見られる場合
  - ・ 手足の血行の異常、しびれなどの知覚異常が見られる場合
- 装着により異常な症状が見られる場合には、使用を中止し、直ちに医師に相談してください。使用を続けると症状が悪化する原因となります。
- 本製品は次のことを必ず守って正しく使用してください。正しく使用されない場合には、製品本来の機能を十分に発揮できないだけでなく、使用者の身体の動きを妨げたり、異常をきたしたりし、事故や損傷などの原因となります。
  - ・ 本製品は、該当部位、使用目的・用途以外の使用をしないでください。
  - ・ 本製品を使用する前に適切なサイズが選択されていることを、再度確認してください。締め付け感や圧迫の程度には個人差もありますので、義肢装具士をはじめとする医療従事者は、装着される方に合わせて適切なサイズを選択し、適合調整を行なってください。
  - ・ 必要以上の力で締め付けられた状態で本製品を使用しないでください。過剰な圧迫が加わり、血行障害やしびれなどが発生する恐れがあります。製品の締め付け具合を必ず確認し、必要に応じて義肢装具士をはじめとする医療従事者が製品の調整を行なってください。
  - ・ 医療従事者の方は、使用される方や介護される方に装着手順を指導してください。使用者は、指示された手順に従って装着してください。
  - ・ 前後・上下・裏表・左右などを間違えて使用しないでください。
  - ・ 医師の指示以外では、長時間、連続して使用しないでください。
  - ・ 医師の指示以外では、就寝時や入浴時には使用しないでください。
  - ・ 使用中に製品のゆるみやずれが生じた場合には、必ずはじめから手順通り、正しく装着してください。
  - ・ 本製品は、お一人の装着者に対してのみご使用ください。同一製品を複数の方が使用することにより、衛生面を保てないだけでなく、機能面にも素材の消耗による危険を及ぼす可能性があります。
  - ・ 本製品は、初期設定や適合調整以外の加工、改造、修正は行なわないでください。
  - ・ 本製品に破損や磨耗、変形などの徴候が見られた場合には、使用をしないでください。
  - ・ 装着による違和感などがある場合には使用を中止してください。

## 【取扱い方法と注意事項】



注意

- 本製品は不燃性素材を使用しておりません。製品を火気や熱源に近づけたり、急激に温度が上昇するような場所に放置しないでください。
- 本製品がグリース、酸性剤、軟膏、ローションなどの薬品類に触れないようにしてください。
- 本製品は汗や摩擦などにより、色落ちや他の生地に色移りする場合があります。
- 金属製の素材を使用している場合には、汗や水などによりさびが発生する場合がありますので、濡れたままで放置しないでください。

- ・ 面ファスナーを使用している場合、カギ状になっているフック面により、伝線やほつれなど、本体の繊維や衣類をいためる原因となることがありますので、注意してお取扱ください。
- ・ 本製品を廃棄する際には、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

## 【お手入れ方法と注意事項】



注意

- 衛生的な状態を保つためにも、下記に従い、本製品に使用している繊維素材を定期的にお手入れすることをオススメします。
- 本製品は、洗濯の際に色落ちしたり、他の生地に色移りする場合がありますので、色の薄いものと一緒に洗濯しないでください。
- 洗濯の際には、30℃以下の水と中性洗剤で丁寧に手洗いし、洗剤が残らないよう、充分すすいでください。
- 乾燥させる際には、日陰で吊り干しし、直射日光にはさらさないでください。
- 乾燥機を使用しての乾燥やドライクリーニング等を行わないでください。
- アイロン、塩素系漂白剤、柔軟剤等の使用はしないでください。製品を傷める原因となります。



- ・ 面ファスナーを使用している場合、繊維を傷めたり、伝線やほつれの原因となることがありますので、フック面とループ面の両面を接着させてお手入れしてください。
- ・ 繊維素材以外の取外し可能なパーツを使用している場合は、本体から取外してお手入れしてください。取外した金属やプラスチックパーツなどは布で水拭きしてください。

## 【その他】

- ・ パッケージの表示写真と実際の製品とでは、色などに違いがある場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 予告なく製品の仕様やデザインが変更されることがあります。
- ・ 製品には万全を期しておりますが、万一不良などお気づきの点がございましたら当社までご連絡ください。

## 【メーカー責任】

オットーボックはメーカーとして、本取扱手引書で指定された取扱方法に従って製品を使用し、ならびに適切なお手入れ方法に従って定期的にメンテナンスした場合にのみ、その責任を負います。オットーボックはまた、本手引書の指示に従って製品の定期的なお手入れと確認を行なっていただくことをお勧めいたします。

## 【CE規格適合】

本製品は欧州医療機器に関するガイドライン 93/42/EEC の要件を満たし、ガイドラインの付表Ⅹの分類基準により、医療機器クラスⅠに分類されています。オットーボックはガイドラインの付表Ⅶに則り、本製品が CE 規格に適合していることを保証いたします。

(注) 但し、日本においては本製品は医療機器の分野には分類されていません。

お問い合わせ先

### 掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 [www.ottobock.co.jp](http://www.ottobock.co.jp)

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-tebiki-T-BASE-201702